

着工前重点準備について

着工前重点準備の必要性（南郷奈留道路）

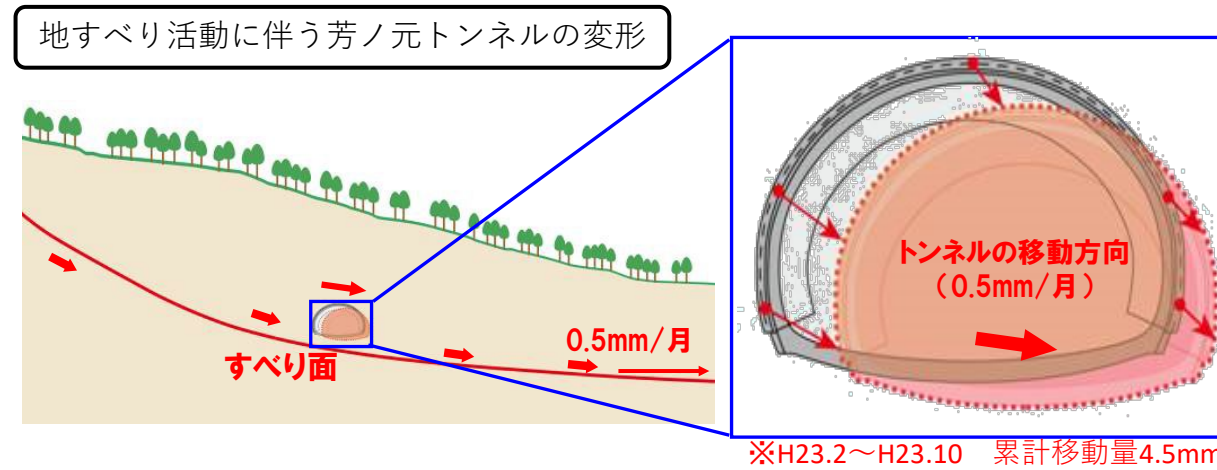
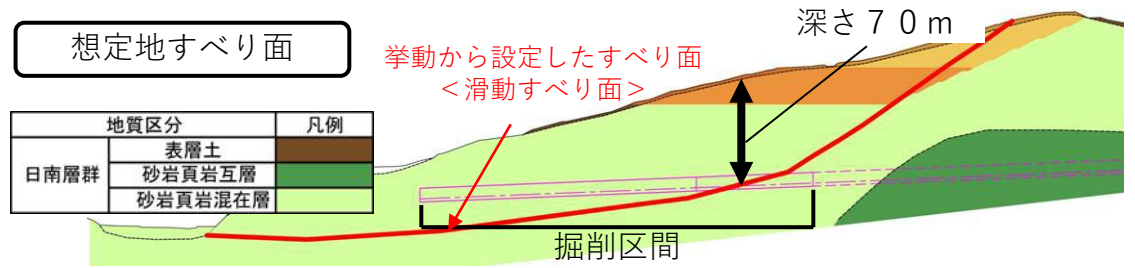
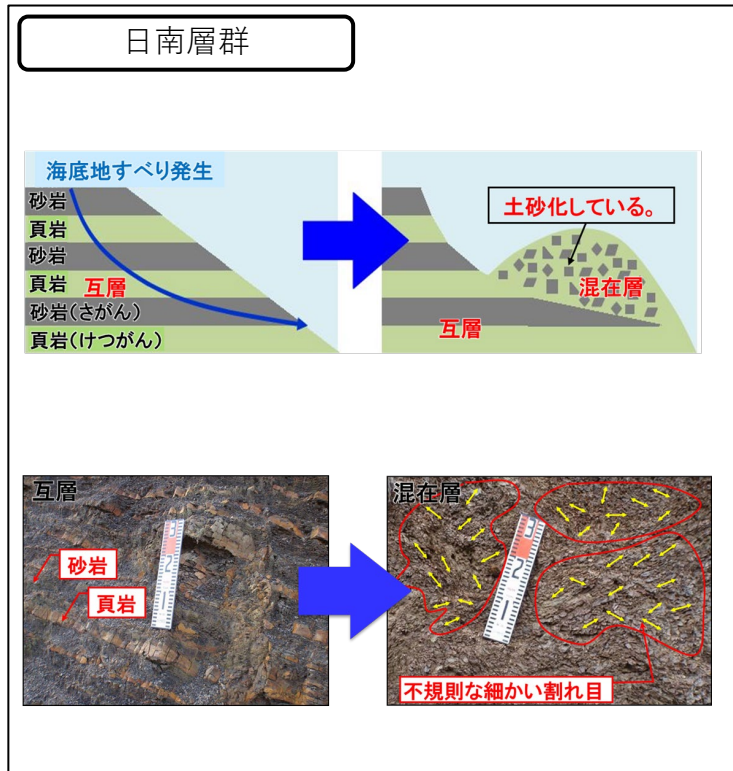
- 東九州自動車道（清武JCT～日南北郷）では「日南層群」の分布を確認。
- 日南層群を通過した「芳ノ元トンネル（R5.3開通）」では、トンネル施工時に地すべり活動によるトンネルの変状が発生し、大規模すべりの可能性があることが施工中に判明。

■日南層群の概要

- ・約3,200万年前に発生した海底地すべりによって形成されたものが隆起

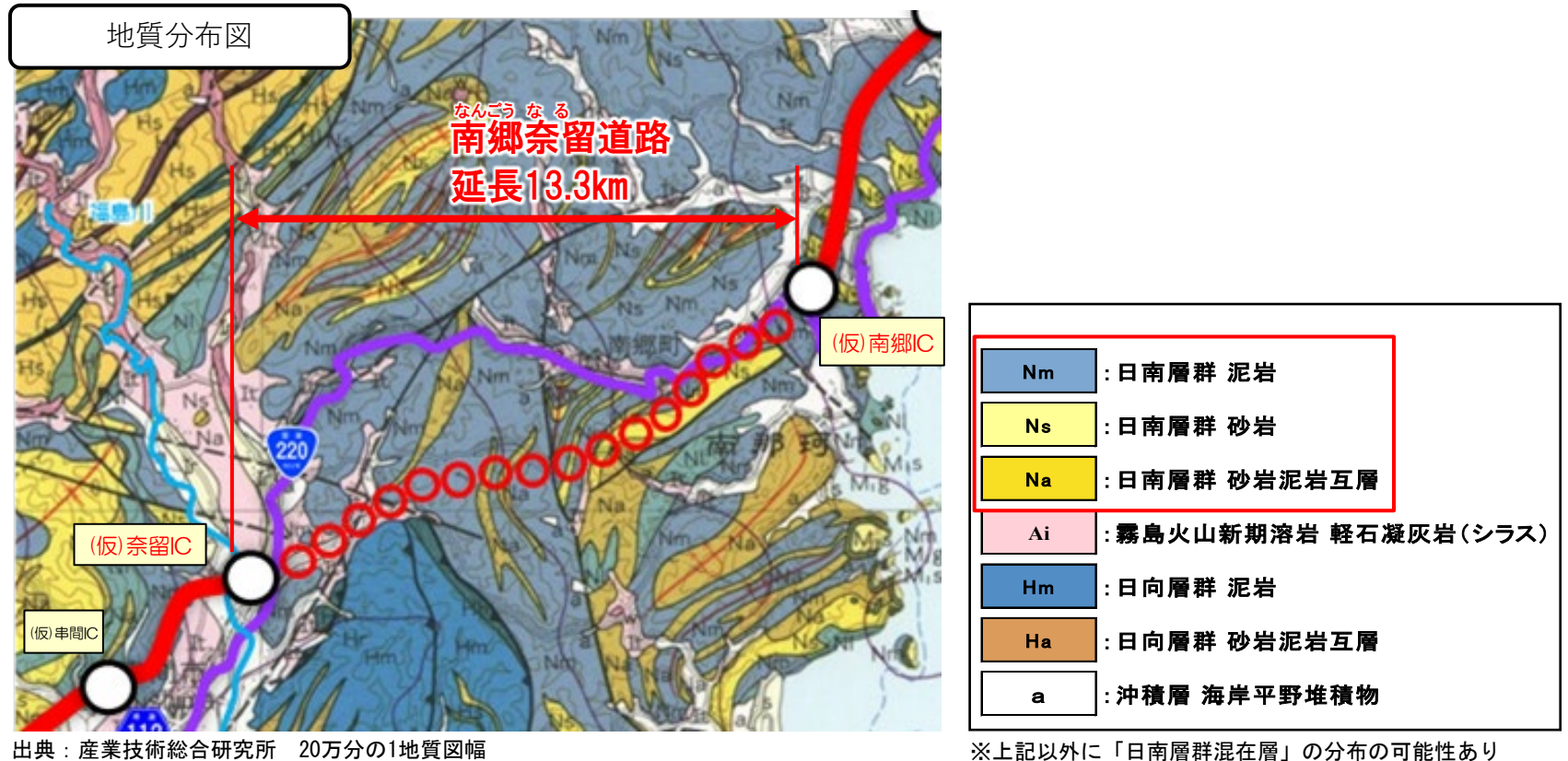
■日南層群の特徴

- ①岩質が柔らかい ②風化速度が速い ③法面崩壊や地すべりが起こりやすい



着工前重点準備の必要性（南郷奈留道路）

- 東九州自動車道（南郷～奈留）においても「日南層群」の分布を確認。
- 事業区間の約7割が日南層群を通過するため、トンネルや切土区間等において地質性状を把握した上で道路構造について慎重な検討が必要。



事業着手後、着工前の調査・設計段階において、**地質調査、地形測量**等を重点的に実施予定